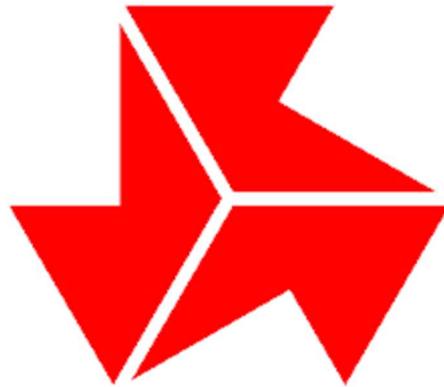


平成30年度

第64回北海道高等学校弓道選手権大会

兼 第63回全国高等学校弓道選手権大会北海道予選会

実 施 要 項



当番校 北海道小樽潮陵高等学校
北海道小樽商業高等学校
北海道小樽水産高等学校

第64回北海道高等学校弓道選手権大会
兼 第63回全国高等学校弓道選手権大会北海道予選会

実施要項

主催 北海道高等学校体育連盟 北海道教育委員会 北海道弓道連盟
後援 小樽市 小樽市教育委員会 小樽市体育協会
主管 北海道高等学校体育連盟弓道専門部 北海道高等学校体育連盟小樽支部
北海道弓道連盟中央地区

当番校 北海道小樽潮陵高等学校
(〒047-0002 小樽市潮見台2丁目1-1 Tel:0134-22-0754 Fax:0134-22-5954)
北海道小樽商業高等学校
(〒047-0034 小樽市緑3丁目4-1 Tel:0134-23-9281 Fax:0134-23-9234)
北海道小樽水産高等学校
(〒047-0001 小樽市若竹町9-1 Tel:0134-23-0670 Fax:0134-23-4553)

- 1 期日 平成30年6月13日(水)・14日(木)・15日(金)
- 13日(水) 8:30～9:00 集合・審判打合せ(道立総合体育センター弓道場)
8:30～ 受付(道立総合体育センター弓道場)
9:00～11:30 公式練習
9:15～10:45 専門委員会(道立総合体育センター本館 大研修室)
12:15～13:00 監督主将会議(道立総合体育センター本館 視聴覚室)
13:30～14:00 開会式(道立総合体育センター弓道場)
14:30～17:00 競技(個人戦 1立目、2立目)……………立射
- 14日(木) 8:10～ 集合・審判打合せ(道立総合体育センター弓道場)
9:00～15:20 競技(団体戦 1立目、2立目)……………立射
15:20～15:40 競技(同中の場合)……………立射
15:40～16:50 競技(個人戦 準決勝、決勝)……………坐射
17:00～17:20 個人競技表彰式(道立総合体育センター弓道場)
- 15日(金) 8:10～ 集合・審判打合せ(道立総合体育センター弓道場)
9:00～10:30 競技(団体戦 2次予選)
10:40～11:00 競技(同中の場合)
11:00～13:30 競技(団体戦 決勝トーナメント)
13:40～14:00 団体競技表彰式・閉会式
(道立総合体育センター弓道場)

2 会場 北海道立総合体育センター弓道場
(〒062-8572 札幌市豊平区豊平5条1丁目1-1 Tel:011-820-1703)

3 競技種目
競技の種目、種別および規格は、以下のとおりとする。
(1) 種目 近的競技

- (2) 種 別 男子の部・女子の部
- (3) 種 類 団体競技・個人競技
- (4) 標 的 木枠の直径36cm 霰的・直径24cm 星的を使用する。
- (5) 競技場 団体戦2射場10人立、個人戦4射場12人立（的の間隔は1.8m）とする。射距離は28mとする。

4 競技規則 (公財)全国高等学校体育連盟弓道競技規則及び全国高等学校弓道大会競技運営細則、北海道高等学校弓道大会競技規則による。

5 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校（中等教育学校後期課程を含む）に在籍する生徒であること。
- (2) 選手は、北海道高等学校体育連盟に加盟する高校の生徒で、北海道高等学校体育連盟弓道専門部を通して(公財)全国高等学校体育連盟弓道専門部に登録している生徒であること。
- (3) 年齢は、平成11年（1999年）4月2日以降に生まれたものとする。ただし、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 各支部において全道大会参加の資格を得たもの。
- (5) チーム編成において全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒の混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6カ月未満の者は参加を認めない。（外国人留学生もこれに準ずる）。ただし、一家転住等やむを得ない場合は、支部長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)定める生徒以外で、(2)～(7)の大会参加資格を満たした生徒を、別途に定める規定に従い参加を認める。
 - イ (3)のただし書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。なお、高等専門学校については、第3学年までの19歳未満の者に限る。

[大会参加資格の別途規程]

- 1 北海道高等学校体育連盟校以外の学校に在籍し、全道高等学校体育大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条件を具備すること。
 - (1) 大会参加資格を認める条件
 - ア 北海道高等学校体育連盟の目的および永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 参加を希望する学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混成は認めない。
 - ウ 各学校にあっては、支部の予選会から出場が認められ、全道大会への出場条件が満たされていること。
 - エ 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に切に行われており、活動時間等が高等学校に比べて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際し守るべき条件
 - ア 全道高校体育大会参加生徒の指導基準および全道高校体育大会参加心得を遵守し、競技種目開催要項および申し合わせ事項等に従うとともに大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万全の事故対策を講じておくこと。

6 引率・監督

- (1) 引率責任者は、団体の場合は校長の認める該当校の職員とする。個人戦の場合は校長の認める学校の職員とする。
- (2) 監督は、校長の認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険（スポーツ安全保障等）に必ず加入することを条件とする。

7 チーム編成等

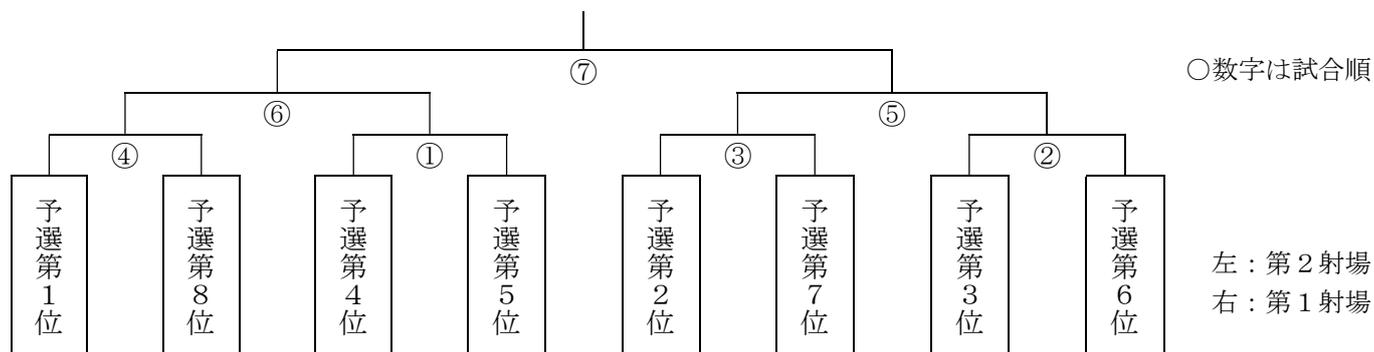
- (1) 団体の部は、選手5名・補欠2名以内・監督1名・介添生徒1名とする。
(但し、本大会は選手3名以上をもって団体として認める。)
- (2) 個人の部は、選手1名・監督1名・介添生徒1名とする。
- (3) 課程（全日制・定時制・通信制）ごとの生徒によるチームであること。
- (4) 団体の部の各支部参加可能数については別紙【参加基準①】のとおりとする。
なお今年度、前年度優勝校枠は、男子一札幌支部、女子一札幌支部に
当番学校支部枠は、小樽支部に男女1チームずつ与える。
- (5) 個人の部の各支部参加可能数については別紙【参加基準②】のとおりとする。

8 競技方法

- (1) 団体競技および個人競技は、今年度、男子→女子の順番で行なう。

ア 団体競技

- (ア) 1次予選は参加申込書の登録順に5名が出場し、各自8射、計40射を行う。的中数上位より12チームを通過とする。予選通過決定競射の場合は、各自1射の競射を行う。
- (イ) 2次予選は予選立順の早いチームから、各自4射、計20射を行ない、1次予選の的中数と合わせ、合計60射の総的中数上位8チームが決勝に進出する。予選通過決定競射の場合は、各自1射の競射を行う。
- (ウ) 決勝は、予選順位によって（1位－8位、2位－7位、3位－6位、4位－5位）と組み合わせトーナメント方式により、一人4射、計20射を行なう。同中の場合は一人1射ずつの競射を行い、勝敗を決定する。対戦組み合わせは、予選順位により下記トーナメント表に従う。8位までに同中があった場合は抽選により順位を決する。



イ 個人競技

- (ア) 予選は各自8射を行い、5中以上の的中をもって通過とする。
 - (イ) 準決勝は予選通過者により、各自4射を行い、3中以上の的中をもって通過とする。決勝進出者が6名に満たないときには、2中者または1中者で遠近競射を行い、それ以下の順位を決定する。
 - (ウ) 決勝の射詰競射は、12人以下となった時点で持的とする。
 - (エ) 決勝戦は、射詰競射により上位から順位を決定する。9射目より24cm星的を使用する。的替えのため、8射終了後選手を一旦退場させ、立順を詰めて持ち的で競技を継続していく。的中を失った場合は、最上位者及び全国大会出場者を決定する場合に限り射詰競射とし、その他は遠近競射による。
- (2) 競技時間の制限
 - ア 競技時間は、本座において進行係の合図により始まり、最後の射手の最後の離れで終わる。
 - イ 競技は個人戦の予選および団体戦の1次予選は立射とする。また、個人戦の準決勝以降および団体戦の2次予選以降は坐射とする。1団体20射の行射制限時間を立射は7分以内、坐射は8分以内とし、立射は6分30秒、坐射は7分30秒で予鈴の合図をする。
 - ウ 弦切れ、その他の事故が生じて時間延長は認めない。ただし、審判委員の指示により競技が停止した時間は制限時間から除外する。追い越し発射は認めない。
 - エ 個人競技および順位決定戦等の時間制限のない場合は、「弦音打起し」の競技の間合いを原則とする。
 - (3) 召集

- ア 第4控において、選手・監督の確認、およびゼッケン、服装の確認をし、第3控において、弓具の点検をする。
- イ 第3控から第2控へ移動する際にいない選手は「その立」に限り失権とする。そのために団体に欠員が生じても欠員のまま団体とする。
- ウ 監督については6で定めたものとする。

(4) 選手の交代

- ア 団体選手の交代は、申込書に記載した登録選手以外は認めない。
- イ 団体競技の先発メンバーは登録順の5名とし、選手の交代は3回まで認める。従って、交代した選手の再出場はできる。ただし、第4控に入るまでに競技本部へ届けること。
- ウ 交代は監督主将会議の際から受け付ける。ただし、2次予選および決勝トーナメント進出校決定のための射詰競射においては交代を認めない。
- エ 選手交代届は所定の用紙に記入し、監督が交代受付に届けること。
- オ 交代をした後、選手に事故が生じて欠場する場合は、欠員のまま団体とする。
- カ 個人競技の選手の交代は認めない。
- キ 交代は1回につき補欠1名の場合は1名、補欠2名の場合は2名以内とする。

(5) その他

- ア 取り矢・坐射ができない選手は、所定の用紙で事前に届け出て許可を得ること。
- イ 各自替矢を持参すること。
- ウ 矢返しは四つ矢が終わるごとに行い、1本ごとの矢返しは認めない。
- エ 替矢を持たずに同中競射および射詰競射に入った場合、5本目に替矢がない場合は失権とする。

9 参加料

- (1) 大会参加料は、エントリー選手一人1,500円とする。(同一選手が団体戦と個人戦の両方にエントリーしている場合は一方の分だけで良い。)

(2) 納入方法

下記の口座に振込とする(振込依頼人名に学校名を入れてくださるようお願い申し上げます)

参加料振込先 北洋銀行 奥沢口支店 (店番号 350)

普通預金 口座番号 3644653

口座名 高体連・高文連当番校 北海道小樽潮陵高等学校 代表 片岡 晃

10 参加申込・参加料の払い込み

- (1) 申込方法 (プログラム作成の都合上、必ず以下のようにしてください)(締切厳守でお願いします)

ア 参加選手および参加料の明細を、所定の申込用紙に記入して、

- ① メール送信での申し込みをお願いします。送信の件名は下記を参照のこと。

「参加申込書 (@@高校)」

- ② 職印を押した申込書(立射の選手がいる場合は申請書)を郵送すること。

ただし、メールの内容と記載内容が同じものであること。

イ 坐射や取り矢ができない場合は、

- ① 坐射や取り矢ができない場合は、参加申込書の備考欄にその旨を記入するとともに、「立射等の申請書」を添えて提出すること。申込み後に怪我などをした場合も速やかに申請すること。

- ② 必ず事前に書類を提出すること。監督主将会議当日の口頭による申し込みは受け付けない。

※個人情報の取り扱いに関して

大会参加に関して提供される個人情報は、本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。(詳しくは実施要領の個人情報保護および肖像権に関わる取り扱いについてを参照してください。)

- (2) 申込先・参加料振込先

【申込み】メール送信および郵送でお願いいたします。

- ① メールアドレス kc@hokkaido-c.ed.jp

申込書ファイルのダウンロードは「小樽潮陵高校公式ホームページ」より行ってください。

<http://www.otaruchouryou.hokkaido-c.ed.jp/>

- ② 郵送先 〒047-0002 小樽市潮見台2丁目1-1 Tel:0134-22-0754 Fax:0134-22-5954

- (3) 申込期日 ① メール送信（申請書） 平成30年5月30日（水）期日厳守
② 職印を押した申込書・立射等の申請書の郵送と参加料の振込（大会当日に持参しないでください） 平成30年6月 1日（金）期日厳守

1.1 弁当について

別紙にて弁当の案内をしています。ご希望の学校は取扱業者（日本旅行小樽支店）に6月1日（金）17：30までに申し込んで下さい。

1.2 表彰

(1) 表彰

- ア 団体の部は、男女とも3位まで。（3位は2校）
- イ 個人の部は、男女とも6位まで。
- ウ 射道優秀賞（決勝トーナメント進出校を対象とする）
- エ 皆中賞（団体の部・個人の部出場者中、第1次予選より連続8射皆中した者。ただし、両者を兼ねる場合は個人の部の成績を対象とする）

(2) 全国大会出場権

団体の部は、男女優勝校。ただし棄権が明確の場合、2位校とする。（ただし選手は5～6名とする。）
個人の部は、男女2位までの者。ただしその中で棄権が明確になった場合、3位の者とする。

1.3 競技上の諸注意

(1) 弓具

- ア 選手は全国高等学校体育連盟弓道競技規則13条に定められた弓具を使用すること。
- イ 押手掛け（指押手を含む）以外の補助具は原則として認めない。
- ウ 弾の紐は危険防止のため小さく結び、止め具の使用は禁止する。
- エ 弓具に照準・目印をつけてはならない。
- オ 伝統的な押手補助具や傷部保護のための包帯、テーピングを除き、押手にはその他のものをつけてはならない
*伝統的な押手補助具としては、押手弾（拇指、人差指の2本指と拇のみの1本指）がある。
*キネシオテープについては、テーピングとみなし使用を認める。
*サポーターの使用は肘のみ認める。色は白・黒・紺・ベージュとする。
*手首のサポーターやテーピングの使用は禁止する。

(2) 服装

●選手

- ア 弓道衣は白、袴は黒または紺の無地とし、白足袋を着用する。
- イ 弓道衣のアンダーシャツは白・黒・紺の無地のものとし、襟付き・ハイネックは不可とする。
- ウ 弓道衣に校名・校章および都道府県のシンボルマークを入れる場合は、片袖に限る。ただし、大きさは縦横10cm以内にする。
- エ 鉢巻を使用する場合は、無地で長さは肩までとする。また、校名・校章・氏名に限り入れても良いが場所は鉢巻の端とする。
- オ 胸当ては無地とし、校名・校章・その他を入れてはならない。男子の胸当ての使用は認めないが、弓道衣の下に装着する事は咎めない。
- カ リボン・ピアス等の装身具類は着用しない。

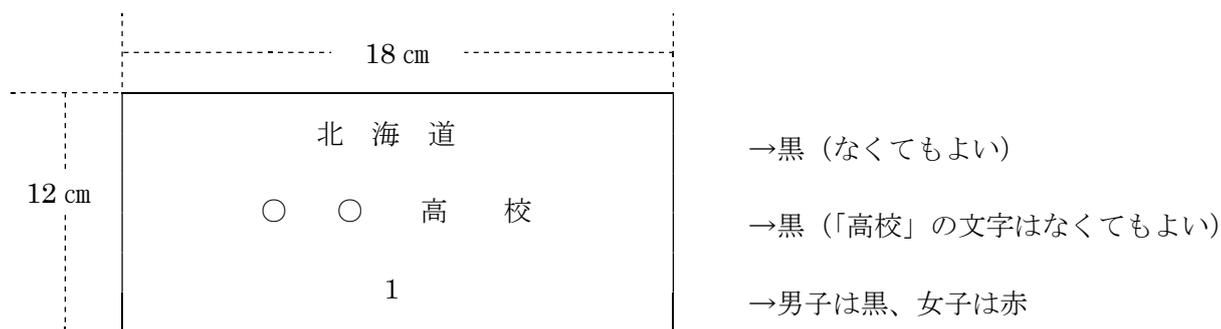
●監督

- ア 監督は監督章を首から下げる。
- イ 射場内での服装は、品位を保ち、短パン、ミニスカートの類は着用しない。
- ウ 射場内での素足は厳禁とし、靴下等を着用する。

(3) ゼッケン

- ・選手は次によりゼッケンを着用する。
- ア プログラムに登録された番号を表示したゼッケンを右腰前に付ける。ただし、ゼッケンの左端が体の中央になるようにする。

- イ 選手の交代によりゼッケンを替えてはならない。
 ウ ゼッケンの記載は横18cm、縦12cmの白の布または紙を使用する。(ゼッケンをケースに入れることは可)「北海道」学校名および男子の選手番号は黒、女子の選手番号は赤で記入する。



- (4) 体育館での壁・柱などを使用した弓張りは禁止とする。
 (5) 観覧席からのフラッシュ撮影は禁止する。
 (6) 応援は、的中時の「よし」の掛け声と皆中時の拍手のみとする。
 (7) 常に静粛な環境を維持するように相互に協力してください。

※その他、必要事項は、「必携」(全国高等学校体育連盟弓道専門部、2017年発行)の15ページを参照すること。また大会時には「必携」を持参すること。

1.4 公式練習・練習会場の時間について

- ・北海道立総合体育センター弓道場 (15人立)

12日(火) 13:00~16:30

13日(水) 9:00~11:30

競技終了後の練習

13日(水) ~19:00

14日(木) ~19:00

- *選手は試合用の服装(必ずゼッケンを装着)で練習をすること。お互いに節度を守ること。
- *練習の際は、必ず監督などの責任のある方が射場内につき、危険防止に留意すること。
- *矢取りは、相互に協力して行うこと。「競技終了後の練習」に当番校生徒はつきません。練習終了後は、練習した選手で片付けを行ってください。

1.5 大会会場について

- ・大会会場の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
- ・周辺地域への路上駐車はおやめください。
- ・大会会場では、巻藁を持ち込んでの練習はできません。

1.6 その他

連絡・問い合わせ先 第64回北海道高等学校弓道競技選手権大会当番校事務局

北海道小樽潮陵高等学校 田中 崇志

(0134-22-0754 学校代表)

HOKKAIDO
PREFECTURAL
SPORTS CENTER

北海道立総合体育センター
(愛称: 北海きたえーる)



ホーム > 周辺地図



北海道立総合体育センター(愛称: 北海きたえーる)
〒062-8572 北海道札幌市豊平区豊平5条11丁目1番1号 | TEL 011-820-1703
開館時間: 9時~21時(一部施設は23時まで) | 休館日: 月曜日(月2回・不定)・12/31~1/2
(C)2000~北海道 All Right Reserved.

【注意】

○札幌市内(中心部)から公共交通機関でご来館の場合

詳しくは、札幌市交通局のホームページをご覧ください。

- *札幌市営地下鉄南北線 「さっぽろ」 【乗り換え】 → 札幌市営地下鉄東豊線 「さっぽろ」 → 札幌市営地下鉄東豊線 「豊平公園」下車 → 地下連絡通路 → 北海道立総合体育センター「北海きたえーる」
- *札幌市営地下鉄東西線 「大通」 【乗り換え】 → 札幌市営地下鉄東豊線 「大通」 → 札幌市営地下鉄東豊線 「豊平公園」下車 → 地下連絡通路 → 北海道立総合体育センター「北海きたえーる」

○駐車場について

- *大会会場の駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用ください。
- *近隣の施設の駐車場や駐停車禁止区域での違法駐車や迷惑駐車はご遠慮いただきますようお願い致します。

大会日程

6月13日（水） 大会第1日目

審判打ち合わせ 8:30 ~ 9:00
 会場 北海道立総合体育センター弓道場
 出席者 専門委員長、審判長、副審判長、専門委員、審判員、当番学校担当職員

専門委員会 9:15~10:45
 会場 北海道立総合体育センター本館・大研修室
 出席者 専門部長、専門委員長、専門委員、当番学校長および担当職員
 次回大会当番学校職員（北見北斗高等学校）

監督・主将会議 12:15~13:00
 会場 北海道立総合体育センター本館・講堂・視聴覚室
 出席者 専門部長、専門委員長
 審判長、副審判長、専門委員、当番学校長および担当職員
 次回大会当番学校職員、各校監督・主将

開 会 式 北海道立総合体育センター弓道場 13:30~14:00
 個人男子予選1立ち目（立射） 14:30~15:05
 個人女子選1立ち目（立射） 15:05~15:40
 個人男子選2立ち目（立射） 15:40~16:15
 個人女子選2立ち目（立射） 16:15~17:00

6月14日（木） 大会第2日目

集 合（審判打ち合わせ：弓道場） 8:10
 団体男子1次予選1立ち目（立射 制限時間7分） 9:00~10:35
 団体女子1次予選1立ち目（立射 制限時間7分） 10:35~12:10
 団体男子1次予選2立ち目（立射 制限時間7分） 12:10~13:45
 団体女子1次予選2立ち目（立射 制限時間7分） 13:45~15:20
 1次予選通過決定競射（立射 予選同順の場合） 15:20~15:40
 個人準決勝（男子女子）（坐射） 15:40~16:20
 個人決勝（坐射） 16:20~16:50
 個人表彰 17:00~17:20

6月15日（金） 大会第3日目

集 合（審判打ち合わせ：弓道場） 8:10
 団体男子2次予選（坐射 制限時間8分） 9:00~ 9:45
 団体女子2次予選（坐射 制限時間8分） 9:45~10:30
 2次予選通過決定競射（立射 予選同順の場合） 10:40~11:00
 団体男女決勝トーナメント（坐射 制限時間8分） 11:00~13:30
 団体競技表彰式・閉会式 13:40~14:00

会 議 案 内

審判打ち合わせ	会 場	北海道立総合体育センター弓道場
	期 日	6月13日(水)
	時 間	8:30 ~ 9:00
	出席者	専門委員長、審判長、副審判長、専門委員、審判員、当番学校担当職員
専門委員会	会 場	北海道立総合体育センター本館・大研修室
	期 日	6月13日(水)
	時 間	9:15 ~ 10:45
	出席者	専門部長、専門委員長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員
監督・主将会議	会 場	北海道立総合体育センター本館 講堂・視聴覚室
	期 日	6月13日(水)
	時 間	12:15 ~ 13:00
	出席者	専門部長、専門委員長 審判長、副審判長、専門委員、当番学校長および担当職員 次回大会当番学校職員、各校監督・主将

専門委員会次第

1. 開会の辞
2. 専門部長挨拶
3. 当番学校長挨拶
4. 当番学校職員紹介
5. 次回当番学校職員紹介
6. 議事
 - 1) 日程の確認
 - 2) 大会プログラムの訂正について
 - 3) 競技上の注意について
 - 4) 大会役員・審判について
 - 5) 当番校連絡事項
 - 6) 次回大会支部専門委員報告
 - 7) その他
7. 専門部長挨拶
8. 閉会の辞

監督・主将会議次第

1. 開会の辞
2. 専門部長挨拶
3. 当番学校長挨拶
4. 審判長・副審判長紹介
5. 審判長挨拶
6. 競技日程確認および競技上の注意
7. プログラムの訂正について
8. 選手交代について
9. 当番校からの連絡
10. その他
11. 専門部長挨拶
12. 閉会の辞

競技上の諸注意

- 1 矢つがえ後の筈こぼれした矢は、無効となる。矢つがえ後とは矢をつがえてから妻手を右腰に据えた時とする。個人戦に限り、前立の射手の本弭等によってはじかれた場合は筈こぼれとみなさない。
 - 2 弦切れの場合、4本目を除き、選手は射位に跪坐し、射場進行係が弓を取りに来るのを待つ。弓を渡した後、切れ弦の処理をする。4本目の場合はならいのごとく処理し退場する。原則、替弦は監督が張るものとする。
 - 3 弓を取り落とした場合、射場進行係の指示に従い処理をする。
 - 4 射位にある射手は口頭、またはその他の方法で助言を求め、または受け取ってはならない。射手が本座及び射位で不必要な声を発したり、または他の射手に対して助言をしてはならない。
 - 5 会場内で不必要な声を発しないこと。観覧者は指定された観覧席から応援し、的中時の「よし」と皆中時の拍手のみとする。
 - 6 矢を落し失権となった矢は、他の選手の妨げとならないように拾って自分の右側に送る。
 - 7 的中数は看的の○×表示で示す。的中数に異議がある場合は、矢を抜く前に監督が射場進行係に申し出る。その後の申し出については受け付けない。
 - 8 競技進行中における行射中止の指示は、的中前における赤旗の掲示と射場内における進行係の指示によって行うので、直ちに行射を中止すること。再開指示は赤旗を撤去、係が指示する。
 - 9 同中競射および射詰の時、競射1本目は替矢とする。この時は一矢射終わったら自分の席に戻る。2本目以降の競射・射詰の矢は、監督に預け一矢ずつ受け取る。競射は一矢射終わるごとに自分の席に戻る。
 - 10 個人競技準決勝で2中（1中）した時、退場口の進行係の指示があった場合は、第3控席に待機している。
 - 11 個人競技決勝の射詰・遠近法による競射の退場は進行係の指示に従うこと。
 - 12 競技場内に第1、第2控を設け、これより先を射場内とする。1階ロビーの指定された第4控席で点呼、第3控席で弓具の点検を行うので競技進行に合わせて集合する。第2控席に移動するまでに集合しない場合は、その立ちに限り失権とする。
 - 13 第3・4控席では弓具を置いて待機し、第1・2控席では弓を立てない。
 - 14 監督は、監督章をつけて替矢・替弦を持参して入場する。
 - 15 計時については、7分30秒の振鈴で予告し、8分00秒の振鈴によってその後の矢を失格とする。振鈴は本部席のストップウォッチを基に行う。
 - 16 矢返しは、会場入り口の付近（1階）に設置した矢立てで行うので、速やかに回収すること。
- ※ 矢摺り籐の長さが6cm未満のもの、あるいは損傷し、セロテープなどで補修している等の弓は使用しないでください。（弓具点検の際に、競技上危険または目印とみなしうる場合は、ガムテープを貼ることがあります。）

会 場 使 用 上 の お 願 い

1. 北海道立総合体育センターの開館時間は8：05です。選手はそれ以前には入館できませんので注意して下さい。地下鉄連絡通路で開場を待つ際は一般の利用者の通行を妨げにならないように配慮して下さい。
2. 選手控室は柔道室、剣道室です。パーテーションはありません。また、2階大研修室、講堂・視聴覚室も控室になっています。譲り合ってご利用ください。
3. 控室の利用について、次のことを必ず守ってください。
 - (ア)控室（柔道室・剣道室）は土足厳禁です。
 - (イ)控室内では、壁面を使って弓を張ることを禁止します。選手同志で肩を貸しあうなどして弓を張って下さい。その他の施設・備品の破損にも十分注意して下さい。
 - (ウ)控室（柔道室・剣道室）内での飲食は厳禁です。
 - (エ)昼食は2階大研修室をご利用ください。
 - (オ)剣道室に巻き藁を設置してあります。安全に留意してお使いください。
 - (カ)退館時には必ず自分たちの周囲の清掃を行ってください。ただし、ゴミ袋の用意はしませんので、各学校のゴミの処理は各自の責任で行い、ゴミは必ず持ち帰って下さい。
 - (キ)センター内にあるゴミ箱や最寄りの地下鉄駅構内のゴミ箱にゴミを捨てて帰らないで下さい。
 - (ク)絨毯を汚さぬように十分注意して下さい。
 - (ケ)靴の間違いが多く発生していますので、靴袋を用意して控室に持ち込んで下さい。
 - (コ)選手の呼び出しはしません。控室が弓道場から離れていますので、点呼に遅れないよう十分に注意してください。
4. 盗難防止のため、貴重品の管理は各自で厳重にお願いします。なお、弓道場控室および柔道室・剣道室付属の「選手控室」内に鍵付きロッカーがありますので、必要な方はそちらを利用して下さい。
5. センター内の他の施設にみだりに立ち入らぬようお願いいたします。（メインアリーナ・サブアリーナ等）また、センター内の施設・備品の破損、周囲の迷惑となる行為、危険な行為は厳に慎んで下さい。
6. 男女共更衣室は、柔道室・剣道室に付属のものを使用して下さい。更衣室は1日中使用できます。ただしセンター内の他施設の更衣室は使用できません。更衣室以外での着替えは慎んで下さい。
7. 応援のマナーに注意し、観客席からの声援・指示などで射手に動揺を与えるような行為は慎んで下さい。（別紙参照）
8. 第1射場側の観覧席では、1立ごとに移動をお願いします。射場側を入口、的側を出口とし、入れ替えをお願いしていますので、ご協力ください。一定時間経過後出口側からの再入場は可能です。
9. 外からの写真撮影について。前方観覧席からのフラッシュを使用しての写真撮影は禁止です。選手を通じて保護者などにもお伝え下さい。
10. 選手、監督（監督代行）以外は弓道場内に入れません。選手も行射終了後はすみやかに道場内から立ち去って下さい。ただし、監督（監督代行）は的中数を確認してから退出して下さい。
11. 弓道場は本館から離れた屋外にあります。雨天の場合、弓道場から本館に戻ったとき、玄関前で雨具の水気をよくきり、下足の汚れをマット等で十分に拭いて下さい。各控室内に濡れた雨具を持ち込んではいけません。
12. 選手および観覧生徒は第一駐車場や弓道場とセンター本館の通路で区切られている場所に立ち入らないようにして下さい。
13. 本大会より、団体決勝トーナメント進出校の選手を対象にした、北海道弓道連盟による国民体育大会北海道代表選考会への選出はありません。
14. 今大会の的紙は裏にビニールの入った的紙を使用しますので、ご了承ください。
15. 個人戦は3人立ち4射場、団体戦は5人立ち2射場で行います。
16. 各校監督・顧問は選手の健康管理の掌握、麻疹・インフルエンザ等への対応もお願いします。

「第64回北海道高等学校弓道選手権大会」参加における 個人情報保護および肖像権に関わる取り扱いについて

北海道高等学校体育連盟
第64回北海道高等学校弓道選手権大会当番校
北海道小樽潮陵高等学校
北海道小樽商業高等学校
北海道小樽水産高等学校

平成30年度第64回北海道高等学校弓道選手権大会当番校は、大会参加申込書等を通じて取得される個人情報および肖像権の取り扱いについて以下の通り対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されます。
- (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板・速報・新聞等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取扱い

- (1) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌および関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、当番校が作成する大会報告書(以下「報告書」という。)に掲載されます。
- (3) 新記録、優勝および上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書および関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放送されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) この他、北海道高等学校体育連盟の許可に基づき、記念写真等が販売されることがあります。

4 当番校としての対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記取り扱いに関するご承諾をいただいたものとして、対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関してのご質問は、北海道高等学校体育連盟事務局または当番校事務局までご連絡ください。

連絡先・問い合わせ先

北海道高等学校体育連盟事務局

011-826-3300

第64回北海道高等学校弓道選手権大会当番校事務局

0134-22-0754 (小樽潮陵高等学校)

立川頁表 【個人】

*ゼッケン番号は支部予選大会での入賞の逆順です。

◎男子

順位	札幌	函館	室蘭	小樽	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根
1	126	145	141	103	114	110	101	133	137	107
2	125	144	140	102	113	109		132	136	106
3	124	143	139		112	108		131	135	105
4	123	142	138		111			130	134	104
5	122							129		
6	121							128		
7	120							127		
8	119									
9	118									
10	117									
11	116									
12	115									

◎女子

順位	札幌	函館	室蘭	小樽	空知	旭川	名寄	北見	十勝	釧根
1	128	138	133	148	108	145	109	116	104	141
2	127	137	132	147	107	144		115	103	140
3	126	136	131	146	106	143		114	102	139
4	125	135	130		105	142		113	101	
5	124	134	129					112		
6	123							111		
7	122							110		
8	121									
9	120									
10	119									
11	118									
12	117									

立順表【団体】

◎男子

立順	学校名（支部順位）
1	高校（札幌支部 7位）
2	高校（北見支部 3位）
3	高校（札幌支部 6位）
4	高校（札幌支部 5位）
5	高校（釧根支部 2位）
6	高校（札幌支部 4位）
7	高校（旭川支部 2位）
8	高校（室蘭支部 2位）
9	高校（小樽支部 2位）
10	高校（旭川支部 1位）
11	高校（空知支部 2位）
12	高校（釧根支部 1位）
13	高校（空知支部 1位）
14	高校（札幌支部 3位）
15	高校（北見支部 2位）
16	高校（十勝支部 2位）
17	高校（札幌支部 2位）
18	高校（室蘭支部 1位）
19	高校（十勝支部 1位）
20	高校（函館支部 2位）
21	高校（北見支部 1位）
22	高校（小樽支部 1位）
23	高校（札幌支部 1位）
24	高校（函館支部 1位）
25	高校（名寄支部 1位）

◎女子

立順	学校名（支部順位）
1	高校（室蘭支部 3位）
2	高校（函館支部 2位）
3	高校（函館支部 1位）
4	高校（旭川支部 2位）
5	高校（旭川支部 1位）
6	高校（釧根支部 1位）
7	高校（札幌支部 7位）
8	高校（札幌支部 6位）
9	高校（北見支部 3位）
10	高校（札幌支部 5位）
11	高校（空知支部 2位）
12	高校（小樽支部 2位）
13	高校（札幌支部 4位）
14	高校（札幌支部 3位）
15	高校（室蘭支部 2位）
16	高校（北見支部 2位）
17	高校（小樽支部 1位）
18	高校（十勝支部 2位）
19	高校（十勝支部 1位）
20	高校（札幌支部 2位）
21	高校（名寄支部 1位）
22	高校（室蘭支部 1位）
23	高校（北見支部 1位）
24	高校（空知支部 1位）
25	高校（札幌支部 1位）

弓道大会 応援・観戦のマナーについて

最近、大会時における応援・観戦について、さまざまな問題が指摘されています。出場選手が日頃の修練の成果をいかんなく発揮できるよう、以下の応援・観戦のマナーを厳守願います。

①射場外からの応援は、的中時の「よし」の発声及び皆中時の拍手に限られています。

自校のチーム・選手に対する熱心な応援が時として他校のチーム・選手の行射の妨げ・迷惑になる場合があります。最近、奇声とも思えるような応援、長い拍手もあります。周囲に配慮した爽やかな応援を心掛けてください。

②常に、他校のチーム選手に敬意を払った応援をお願いします。

相手チームや選手が外れた時に「よし」と発声したり、相手の失敗を期待するような発声は絶対にやめてください。保護者の方にも周知をお願いします。

③射場外からのフラッシュ撮影は禁止されています。

フラッシュの発光は時に競技の妨げになります。ご存じない様子の観客がおいででしたら、一言声をおかけください。

応援・観戦の態度が悪く、再三の注意にもかかわらず、改善の様子が見られない場合、行射を止めざるを得ないこともあります。

勝敗にかかわらず、選手が気持ちよく大会を終えられるよう、各位の特段のご協力をお願い致します。

北海道高体連弓道専門部